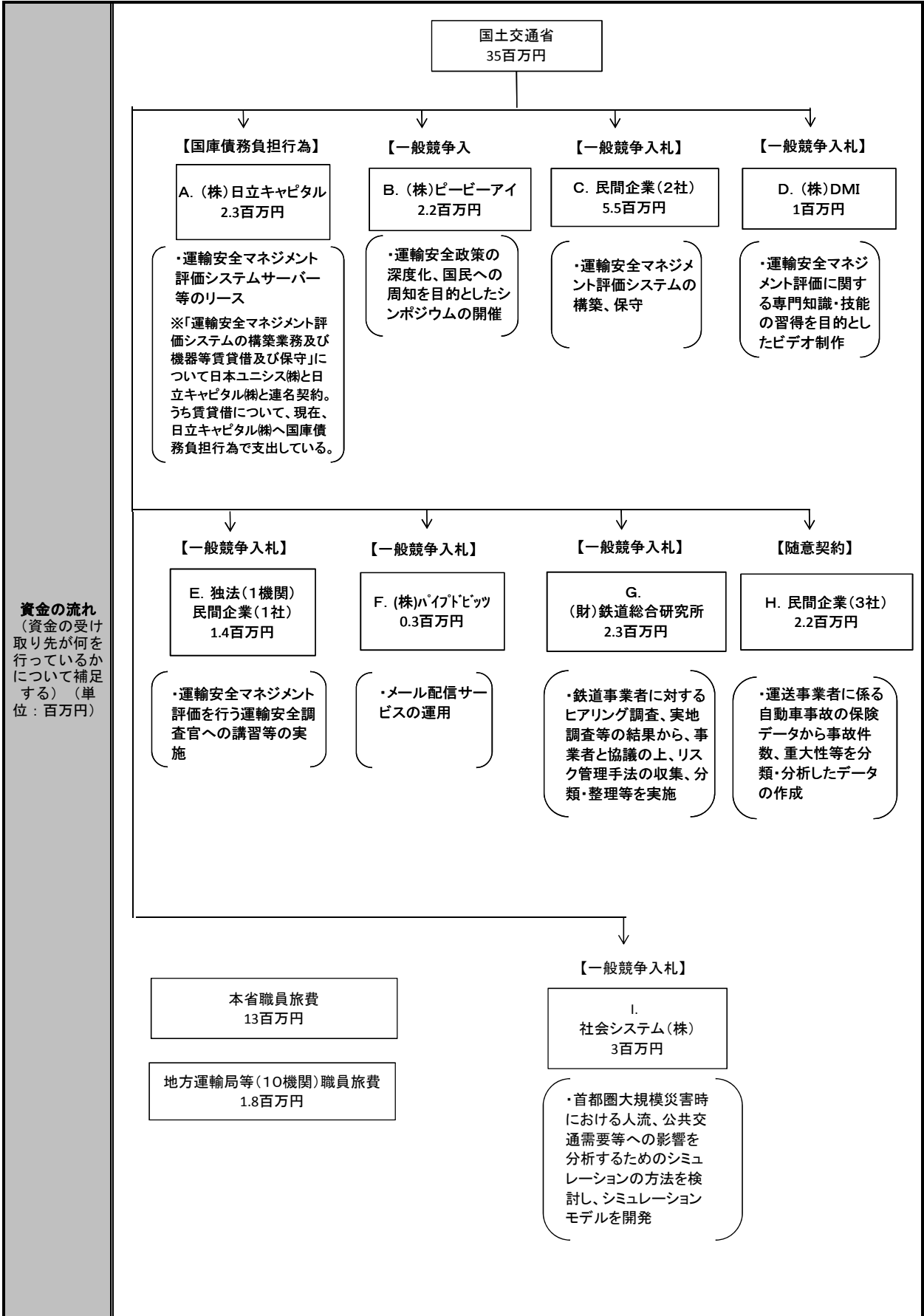


平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	運輸安全マネジメント制度の充実・強化		担当部局	大臣官房		作成責任者	運輸安全監理官 渡邊 良		
事業開始・終了(予定)年度	平成18年度～		担当課室	運輸安全監理官					
会計区分	一般会計		施策名	14 公共交通の安全確保・鉄道の安全性向上、バスジャック・航空機のテロ防止を推進する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	鉄道事業法第56条 (軌道法第26条において準用する場合を含む) 道路運送法第94条 貨物自動車運送事業法第60条 海上運送法第25条 内航海運業法第26条 航空法第134条		関係する計画、通知等	第9次交通安全基本計画 (平成23年3月31日中央交通安全対策会議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程度以内)	国民の日常生活を支え、ひとたび事故等が起これば大きな被害となる公共交通等の一層の安全を確保するため、運輸事業者による社内一丸となった安全管理体制の構築・改善を図る運輸安全マネジメント制度を充実・強化する。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①事業者が経営トップから現場まで一丸となった安全管理体制を構築し、その実施状況を国が評価し、改善に向けた助言を行う「運輸安全マネジメント評価」の実施 ②運輸安全マネジメント評価担当職員研修の実施 ③運輸安全マネジメント評価の深度化のための調査 ④運輸事業者に対する安全教育・協働を促すためのシンポジウムの開催 ⑤制度浸透のためのパンフレット等の印刷・配布 ⑥運輸事業者の安全管理体制に係る課題抽出・分析等に活用するためのデータベースシステムの構築・維持								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求			
	予算の状況	当初予算	44	31	48	36			
		補正予算	0	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0	0			
		計	44	31	48	36			41
	執行額		35	29	35				
執行率(%)		79.5%	93.5%	72.9%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	鉄道運転事故による乗客の死亡者数 ※初期値:0人(18年度)	成果実績	人	0	0	0	0	0 (毎年度)	
		達成度	%	100	100	100	100		
	事業用自動車による事故に関する指標 ①事業用自動車による交通事故死者数 ②事業用自動車による人身事故件数 ③事業用自動車による飲酒運転件数 ※初期値:①513人(20年度)、②56,295人(20年度)、③287人(20年度)	成果実績	人	①468 ②51,510 ③207	①490 ②51,061 ③177	①447 ②49,080 ③151	①380 (25年度) ②43,000 (25年度) ③0 (25年度)		
		達成度	%	①34 ②36 ③28	①17 ②39 ③38	①50 ②54 ③47			
	商船の海難船舶隻数 ※初期値:518隻(18年度)	成果実績	隻	475	482	367	466以下 (23年度)		
		達成度	%	83	69	100			
	国内航空における航空事故発生件数 (過去5カ年平均値) ※初期値:13.6件(15～19年平均)	成果実績	件	11.6	10.4	11.2	12.2 (20～24年平均)		
		達成度	%	100	100	100			
	活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
運輸安全マネジメント評価回数 (本省評価)		活動実績	回	142 (138)	152 (149)	106 (116)	— ()		
		(当初見込み)	回	40 (44)	56 (58)	65 (60)	— ()		
運輸安全マネジメント評価回数 (地方運輸局との合同評価)									
単位当たりコスト	①約9(万円/回) (合同評価含み:約6万円/回) ②約10(万円/回) ③約218(万円/回)		算出根拠	①(H23運輸安全マネジメント評価実施に係る旅費:9,520,005円)/(H23評価実施回数:106回(合同評価含み:171回)) ②(H23運輸安全マネジメント評価担当職員の研修に係る経費:812,540円)/(H23研修実施回数:8回) ③(H23シンポジウム開催に係る経費:2,184,000円)/(H23シンポジウム開催回数:1回)					
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	(本省外)								
	諸謝金	1百万円	1百万円	地方運輸局における運輸安全マネジメント評価の充実のための研修の強化による					
	職員旅費	16百万円	17百万円						
	委員等旅費	1百万円	1百万円	運輸安全確保の実効性確保のための調査による増					
	公共交通等安全対策調査費	16百万円	18百万円						
	電子計算機借料	1百万円	1百万円						
	(地方運輸局分)			運輸安全マネジメント評価の評価の充実のための増					
職員旅費	2百万円	3百万円							
計	36百万円	41百万円							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	運輸の安全の確保については、国土交通省の最も重要な責務の一つであり、近年においても重大な事故等が発生しており、国民のニーズ及び優先度は高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定については、一般競争入札を活用し、競争性の確保とコストの削減に努めているところ。また支出の内容についても、十分に把握し、必要なものに限定されていることを確認している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	事業者における安全管理体制の構築は大手を中心に進展をしており、成果目標についても概ね順調に推移している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		運輸安全の確保という事業の目的に真に必要な範囲内であり、かつ効率的な支出となっているよう、支出時に十分な検討を行うと共に、支出の削減に努めている。	
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		公共交通機関等の安全性の向上はきわめて重要な課題であるが、運輸安全マネジメントは、本来ならば事業者自らが推進すべきものであって、制度が定着したあかつきには国の直接実施から脱却させるという観点を常に持ってこれを推進すべき。また、民間の活力を活用する等の工夫を行うべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善		指摘を踏まえ、民間の活力を活用するべく、官民連携の協議会により制度の普及・啓発を図る取組を本年度から進めているところ。	
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	25	平成23年行政事業レビュー	39



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と用途の双方で
 実情が分かる
 ように記載)

A.(株)日立キャピタル			F.(株)パイプドビッツ		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
リース料	システムサーバーリース料	2.3	システム利用料	メール配信サービス利用料	0.3
計		2.3	計		0.3
B.(株)ピービーアイ			G.(財)鉄道総合研究所		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
シンポジウム開催	会場設営及び運営、進行台本等立案・作成、報告書作成等	2.2	調査検討	調査研究、報告書作成等	2.3
計		2.2	計		2.3
C.(株)ビービーシステム			H.NKSJリスクマネジメント(株)、(株)インターリスク総研		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
プログラム開発	システム設計、報告書作成等	4.4	調査検討	調査研究、報告書作成等	0.8
計		4.4	計		0.8
D.(株)DMI			I.社会システム(株)		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
ビデオ制作	台本及び絵コンテ作成、編集・製作	1.0	情報収集	情報の収集及び整理	2
			モデル構築	シミュレーションモデルの構築、報告書作成	1
計		1.0	計		3
E.(株)インターリスク総研					
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
研修費	研修受講料、テキスト代	1.35			
計		1.35	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(株)日立キャピタル	運輸安全マネジメント評価システムサーバー等のリース	2.3	—	—

B.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(株)ピービーアイ	運輸事業者に対する安全教育・協働を促すためのシンポジウム開催	2.2		

C.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	日本ユニシス(株)	運輸安全マネジメント評価システムの保守	1.1	1	
2	(株)ピービーシステム	運輸安全マネジメント評価システムの保守及び開発	4.4		

D.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(株)DMI	制度の専門知識・技能の習得を目的としたビデオ制作	1		

E.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(株)品質保証総合研究所	運輸安全調査官への講習等の実施	1.35	1	
2	(独)航海訓練所	運輸安全調査官等への講習等の実施	0.05	1	

F.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(株)パイブドビッツ	メール配信サービスの運用	0.3	1	

G.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(財)鉄道総合研究所	リスク管理手法の収集、分類・整理等の実施	2.3		

H.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	NKSJリスクマネジメント(株)	自動車事故の保険データから事故件数、重大性等を分類・分析したデータ作成	0.8	1	
2	(株)インターリスク総研	自動車事故の保険データから事故件数、重大性等を分類・分析したデータ作成	0.8	1	
3	東京海上日動コンサルティング(株)	自動車事故の保険データから事故件数、重大性等を分類・分析したデータ作成	0.6	1	

I.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	社会システム(株)	災害時における人流、公共交通需要等への影響を分析するためのシミュレーションモデル開発	3	3	